



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浅倉 三男
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理グループ長 (氏名) 安戸 久仁彦 (TEL) (03) 3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,584	△5.6	290	△38.7	249	△63.1	121	—
24年3月期第2四半期	15,454	9.5	473	△37.1	677	△27.1	△580	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 20百万円 (△92.7%) 24年3月期第2四半期285百万円 (350.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.53	—
24年3月期第2四半期	△21.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,058	5,674	21.8
24年3月期	26,576	5,785	21.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,674百万円 24年3月期 5,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	28,500	△6.2	750	△24.1	400	△62.7	250	△46.3	9.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社 (社名) - 、 除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	35,000,000株	24年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	8,139,601株	24年3月期	8,139,601株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	26,860,399株	24年3月期2Q	26,860,399株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）セグメント情報等	9
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報〔当期の経営成績〕

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要が引き続き見込まれるものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性が高い中で、個人消費は伸び悩み、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動、デフレの影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間の海外原糖市況は、期初24.58セント（ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり）以下同様）で始まりましたが、7月後半以降は収獲に適した好日となり、ファンダメンタルズの懸念は後退し市況は反落しました。加えて、豪州、インド、タイなど北半球の主要砂糖生産国も順調な生産見通しが出され、9月6日には18.81セントの安値をつけました。しかし、その後は材料の出尽くし感もあって下げ止まり、結局19.58セントで当第2四半期連結累計期間を終了しました。

当第2四半期連結累計期間の国内市中価格は、東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり。）は期初185～186円で始まりましたが、海外原糖相場の下落を受け、7月21日に3円下げ182～183円となり、そのまま当第2四半期連結累計期間を終了しました。

かかる状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高めるとともに、価格競争力の一層の向上に努めて参りましたが、個人消費の低迷による砂糖販売数量の減少、今夏の電力不足懸念に起因する生産コストの増加、販管費における臨時的な費用計上等諸要因により、売上高、営業利益、経常利益ともに前年同四半期を下回りました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期累計期間	金額 (百万円)	前年同四半期比
売上高	14,584	5.6%減
営業利益	290	38.7%減
経常利益	249	63.1%減
四半期純損益	121	—%

また、セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当第2四半期累計期間	売上高 (百万円)	前年同四半期比	セグメント利益 (百万円)	前年同四半期比
砂糖事業	13,432	5.9%減	699	20.8%減
バイオ事業	773	3.9%増	112	73.5%増
不動産賃貸事業	418	4.4%減	51	7.7%減
調整	△39	—	△573	—
連結損益計算書計上額	14,584	5.6%減	290	38.7%減

(注) セグメント利益の調整額△573百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△567百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

① 砂糖事業

販売数量につきましては、7月は計画並みで推移しましたが、8月以降は個人消費の低迷が顕著となり砂糖需要が減少する中、拡販に注力しましたが前年同四半期を下回りました。売上金額は、販売数量の減少と相場下落による販売価格低下により前年同四半期を下回りました。

② バイオ事業

・ オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、商品価値の啓蒙に努めるとともに、量販店を中心に購入促進策を継続し一定の成果を上げました。業務用は引き続き新規開拓に努めました。

・サイクロデキストリン（CDと略称。）

飲料、健康食品ほか、非食品分野への拡販に努めました。飲料などに新規採用があったほか、冷凍食品や練り製品向けは増加しました。しかしながら、化粧品などの非食品向けで減少がありました。

以上から、バイオ事業全体では販売数量は増加し、売上金額は前年同四半期を上回りました。

③不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術に関しましては、当該ノウハウの第三者への貸与等に継続して努めました。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、引き続き実用化を目指して共同研究開発を精力的に進めました。

バイオプラスチックの中間原料に成り得るグルカル酸の画期的な生産技術を開発し、9月に東京証券取引所等で開示しております。

農林水産省からの研究委託事業として取り組んでいる、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、計画通りに研究を推進しました。

バイオ製品（オリゴ糖、CDなど。）につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の探索に努めました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて517百万円の減少し、総資産は26,058百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却及び時価下落によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて406百万円の減少し20,384百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べて111百万円減少し、5,674百万円となりました。これは主に、上場有価証券の時価評価額及び四半期純利益が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日付で公表いたしました当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成24年10月30日に修正を行い、売上高、営業利益、経常利益、第2四半期連結純利益が当初予想を下回る結果となりました。

なお、平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304	1,302
受取手形及び売掛金	1,937	1,935
商品及び製品	915	1,172
仕掛品	312	158
原材料及び貯蔵品	1,310	1,123
未収還付法人税等	21	—
繰延税金資産	90	66
その他	1,110	1,123
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	7,002	6,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,512	9,577
減価償却累計額	△4,815	△4,938
建物及び構築物(純額)	4,697	4,638
機械装置及び運搬具	11,049	11,072
減価償却累計額	△9,099	△9,269
機械装置及び運搬具(純額)	1,950	1,803
工具、器具及び備品	391	389
減価償却累計額	△333	△337
工具、器具及び備品(純額)	58	52
土地	5,195	5,234
建設仮勘定	23	14
有形固定資産合計	11,924	11,742
無形固定資産	96	81
投資その他の資産		
投資有価証券	4,814	4,517
長期貸付金	1,276	1,361
繰延税金資産	1,328	1,369
その他	159	127
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	7,554	7,350
固定資産合計	19,574	19,175
資産合計	26,576	26,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098	998
短期借入金	9,591	11,289
未払法人税等	423	80
未払消費税等	76	34
賞与引当金	85	83
その他	1,162	1,122
流動負債合計	12,437	13,609
固定負債		
長期借入金	6,642	5,073
退職給付引当金	1,214	1,164
役員退職慰労引当金	252	—
その他	244	537
固定負債合計	8,353	6,775
負債合計	20,791	20,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,856	7,846
自己株式	△3,116	△3,116
株主資本合計	6,756	6,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△969	△1,063
繰延ヘッジ損益	△1	△8
その他の包括利益累計額合計	△971	△1,072
純資産合計	5,785	5,674
負債純資産合計	26,576	26,058

(2) 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	15,454	14,584
売上原価	13,172	12,479
売上総利益	2,282	2,104
販売費及び一般管理費	1,809	1,813
営業利益	473	290
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	126	53
持分法による投資利益	112	—
デリバティブ利益	5	20
雑収入	38	16
営業外収益合計	306	114
営業外費用		
支払利息	93	80
持分法による投資損失	—	52
支払手数料	3	21
雑損失	5	0
営業外費用合計	102	154
経常利益	677	249
特別利益		
投資有価証券売却益	56	15
特別利益合計	56	15
特別損失		
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	1,789	19
その他	—	4
特別損失合計	1,789	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,055	237
法人税、住民税及び事業税	35	82
法人税等調整額	△510	34
法人税等合計	△474	116
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△580	121
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△580	121

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△580	121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	830	△88
繰延ヘッジ損益	11	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	23	△6
その他の包括利益合計	866	△100
包括利益	285	20
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	285	20
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,055	237
減価償却費	386	362
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△31	△49
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7	△252
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△150	△76
支払利息	93	80
支払手数料	3	21
為替差損益(△は益)	1	7
持分法による投資損益(△は益)	△112	52
投資有価証券売却損益(△は益)	△56	△11
投資有価証券評価損益(△は益)	1,789	19
投資その他の資産評価損	—	4
売上債権の増減額(△は増加)	210	1
たな卸資産の増減額(△は増加)	△358	83
その他の資産の増減額(△は増加)	167	61
仕入債務の増減額(△は減少)	△290	△99
未払消費税等の増減額(△は減少)	59	△41
その他の負債の増減額(△は減少)	△211	241
小計	452	639
利息及び配当金の受取額	150	76
利息の支払額	△96	△77
法人税等の支払額	△31	△421
法人税等の還付額	183	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	658	240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108	△222
無形固定資産の取得による支出	△2	—
投資有価証券の取得による支出	△0	—
投資有価証券の売却による収入	741	84
投資その他の資産の増減額(△は増加)	0	24
貸付けによる支出	△560	△540
貸付金の回収による収入	364	427
投資活動によるキャッシュ・フロー	435	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	1,846
長期借入金の返済による支出	△1,291	△1,721
配当金の支払額	△134	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	△9
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33	△2
現金及び現金同等物の期首残高	1,152	1,304
現金及び現金同等物の期末残高	1,119	1,302

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,272	744	437	15,454	—	15,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,272	744	437	15,454	—	15,454
セグメント利益	883	64	56	1,004	△531	473

(注) 1. セグメント利益の調整額△531百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△531百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,422	760	401	14,584	—	14,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	13	16	39	△39	—
計	13,432	773	418	14,623	△39	14,584
セグメント利益	699	112	51	863	△573	290

(注) 1. セグメント利益の調整額△573百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△567百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。